

リハビリテーションを、もっと楽しく、もっと身近に。

佐賀県のHOTな作業療法士をご紹介します！



# SMILE

2017年版

佐賀県の作業療法を伝える  
情報メディアです。

- 作業療法ってどげな仕事？
- 佐賀県の作業療法士について
- 作業療法フェスタ2016
- 生活行為向上マネジメント
- がばいよかOTみてみんしゃい！
- 私の生きがい「花火」

<http://www.sagaot.com/>



## 作業療法って どげな仕事？

作業療法（OT）は、個人のこだわりや習慣などを大切にしながら、心や体に病気や障がいを持った方（こどもからお年寄りまで）に対して、その人らしい生活が送れるように支援することです。お仕事の内容は、個人の生活習慣にあわせた訓練や生活上のアドバイスなど多岐にわたります。

## 佐賀県の作業療法士

県内で働いている作業療法士の総数

約**544名**

地区別

唐松・伊西 140名

佐城 173名

三神 91名

杵藤 122名

OTを目指す学生人数

267人

県内養成校の求人倍率

約70倍

今年度の新規加入人数

新卒加入 45名

中途加入 16名

## 作業療法士に なるには？



学校法人 永原学園 西九州大学

〒842-0015 佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9  
TEL : 0952-52-4191  
[www.nisikyu-u.ac.jp/](http://www.nisikyu-u.ac.jp/)



医療福祉専門学校 緑生館

〒841-0074 佐賀県鳥栖市西新町 1428-566  
TEL : 0942-84-5100  
[www.ryokuseikan.ac.jp/](http://www.ryokuseikan.ac.jp/)

# 「人は生活行為(作業)を続けることで元気になれる」



※生活行為とは、身の回りの事、家事、仕事や学業、趣味や余暇活動、地域活動などの行為全ての事を言います。

これまで、リハビリと言えば、筋トレなど身体を良くすることが大切とされてきました。今は、健康に暮らしていくためには、身体を良くすることのみではなく、生活行為※を高めることも大切であると言われてます。

当たり前の事で、気づきにくいですが、私たちは、身のまわりのことを行うだけではなく、趣味や生きがい、社会参加や社会貢献など、その人にとって『大切にしている生活や活動(生活行為)』を毎日続ける事で、満足感や充実感を得て、健康に暮らせています。

病気の早期発見、早期治療のために健診や体力測定があるのと同様に、生活行為の確認やチェックを行い、健康づくりに役立てましょう。

日本作業療法士協会は、生活行為に焦点をあてた関わりを提案しており、『生活行為を高める』『高齢者や障がい児・者が元気になるツール』として

## 『生活行為向上マネジメント』を開発しました。

### ●『生活行為向上マネジメント』って？

- ①ご本人とその家族がめざす生活行為の目標を一緒に考えます!!
- ②ご本人の身体ではなく、気持ち、生活の方法、道具や生活環境を分析し、ご本人にあった支援を提供できます!!
- ③身体の回復のみを目標にするのではなく、その先にある、ご本人が「したい事」を「できる事」に叶えるために支援します!!

例) 病気をしても、年をとっても……



温泉に行きたい!



家の掃除がしたい!



旅行したい!



佐賀県作業療法士会では、『生活行為向上マネジメント』研修会を行っています。

佐賀県の作業療法士は、生活行為を高める技をもって、県民の皆さまの明るく元気で生き活きとした暮らしに貢献します。

**生活の中で困ったことがあれば、お近くの作業療法士にご相談ください!**

がばいよかOT  
みてみんじやい!

ひらまつ病院 作業療法士

篠原 清美 さん

医療法人 ひらまつ病院

佐賀県小城市小城町 1000 番地 1  
TEL : 0952-72-2111  
http://www.hiramatsu-hp.or.jp/



## 「うれしい・楽しい・してみたい」を育む

### ●作業療法士を目指したきっかけ

中学の時に父親が入院したことがあり、その時にリハビリ室で働くOTの姿を見て「こんな仕事があるんだ」と初めて知る職業に感心し、見学をさせてもらった事をよく覚えています。高校に入り、進路を決める時期になり「普通の大学に行くより手に職を!」と考え、仲の良い友人達が看護師の学校を選ぶ中、看護師になりたいとも考えたのですが、中学の頃のエピソードを思い出し、作業療法士への道を進もうと決めました。



### ●作業療法の醍醐味、やりがい

作業と共に患者さんと協業を基本に「うれしい」「楽しい」「してみたい」を育ていき、心身機能、活動と参加のどれもが一歩ずつ前進し良い方向へ向かっていく。この過程を体験していけるのが作業療法の醍醐味なのかなと思っています。そして、この過程の中で患者さんと共感しあえることがこの仕事のやりがいだと感じています。



### ●将来の夢や目標

臨床経験を積んでも初心を忘れず、探求心や向上心も忘れずに勉強していきたいと思えます。将来、今より自分の時間が作れたら色々な事に挑戦して幅広い分野の方々と交流し、少しでも頼られるような存在へ成長していけたらと思っています。



### 篠原OTってこんな人



- 趣味：サイクリング、楽器演奏（アルトサックス・キーボード）、ショッピング
- ストレス解消法：子供と近所やサイクリングロードを駆け巡ること。
- チャームポイント：小柄な体系、ちっちゃい手・足・鼻（!?!）
- あなたの性格を一言で：体系のわりに態度が大きいそうです（苦笑）
- 今熱中していること：メダカや川で捕ってきた魚を飼育しています。
- 幸せを感じる瞬間：家族みんなで団欒し、ワイワイ賑やかに過ごしている時。



がばいよかOT  
みてみんなじゃい!

こども発達医療センター 作業療法士

林田 美聡 さん

社会福祉法人 佐賀整肢学園  
こども発達医療センター

佐賀県佐賀市金立町大字金立 2215-27  
TEL : 0952-98-2211  
<http://www.saganet.ne.jp/saseishi>



## やりがいは、喜びを共有できること

### ●作業療法士を目指したきっかけ

私は、OTを目指す前は大学で音楽療法を専攻しており、知的障害をお持ちの方のグループホーム等に音楽療法を提供していました。そこで利用者の方と関わるうちに、「もっと何かできることがないかな?」と感じるようになりました。そんな中、心や身体、そして生活を支援する「OT」を知りました。「OTなら、あの利用者さん達に、何かできるのかもしれない。」そう思ったことがOTを目指す第一歩でした。

### ●作業療法の醍醐味、やりがい

私は、お子さんを対象に作業療法を行っています。何よりのやりがいは、お子さんも、保護者様も、そして私自身も一緒に、「できた!」「またしたい!」と喜びを共有できる所です。また、そのお子さんを取り巻く環境(ご家庭、幼稚園・保育園、学校等)までも支援することができるのも、作業療法の魅力だと思っています。

### ●将来の夢や目標

「お子さんだけでなく、ご家族や学校、他機関も含めて支援できる作業療法士になりたい」というのが私の目標です。また、発達分野は0歳からご高齢の方、重症心身障害をお持ちの方から発達障害をお持ちの方まで、幅広く支援の対象としています。それぞれに介入方法も違ってくるので、多面的な視点から介入できるようになりたいと思っています。



### 林田OTってこんな人

- 趣味：ピアノを弾くこと、おいしい物を食べる事
- ストレス解消法：ウインドショッピング
- チャームポイント：笑うと目が無くなる笑顔
- あなたの性格を一言で：マイペース
- 今熱中していること：じゃがりこの限定味探し
- 幸せを感じる瞬間：おいしくごはんを食べている時。某お弁当屋さんの唐揚げが大好きです!

表紙の  
作者さん

## 私の生きがい 題名「花火」

医療法人 二期会 小島病院 デイケア 菜の花さん

利用者の皆さんに取り組んでいただきました。花火の部分は花紙を丸めてボンドで貼り、立体感を出した所にこだわりました。



### 担当作業療法士の友田 照三さんより

重度認知症患者デイケアに通所される利用者様方に約1ヶ月かけて作成していただきました。認知症の方々ですので、複雑な工程になると戸惑われることが多いです。そのため、貼り絵を普段からされて慣れた方々に担当していただき、他の方には折り紙をちぎる、花紙を丸めるといった単純な作業を担当していただきました。普段作業にあまり参加されない方でも「これくらいなら私でもできる」と言われ取り組んでいただいています。しかし、単純な作業をお願いした方はちぎったり、丸めたりしたのが何になるのか分からない方が多く「これは何になるの?」とよく聞かれます。「これが皆さんに貼ってもらうと綺麗な絵になりますよ!」と言うと「へえ〜」とか「そうですか」とその時はあまり分かれてませんが、完成した作品を見ていただくと「あら〜綺麗さあ〜!」「よおできとんねえー!」と本当に素敵な笑顔を見せられます。

これからも皆さんの素敵な笑顔を見れるように様々な作品に取り組んでいきたいと思っております。

#### 医療法人二期会 小島病院

〒848-0121 佐賀県伊万里市黒川町塩屋 205-1  
TEL: 0955-27-2121 FAX: 0955-27-1785  
<http://www.nikikai-kojima.com/>







## 一般社団法人 日本作業療法士協会 50周年記念事業 作業療法フェスタ2016 in モラージュ佐賀

秋冷の心地よい季節、「作業療法の日」とされる9月25日(日)に、佐賀市のモラージュ佐賀さんをお借りして「作業療法フェスタ2016」と題した作業療法の啓発活動を開催致しました。

このフェスタは佐賀県作業療法士会では2011年から毎年開催している事業で、6回目となる今回は(一社)日本作業療法士協会の設立から50周年という節目の年に当たります。そのため設立50周年記念のロゴ入りマグネットクリップを参加賞として準備し、記念事業の一つとして参加者の方へ配布させて頂くことで、以後50年の作業療法発展へ想いを託しました。

例年、ショッピングに見えるお客さんに足を止めて頂き、各種検査、福祉用具の展示、自助具作成、車椅子の体験や今回初めて導入した車椅子に乗ったままプレイできるテレビゲームなど体験エリア及び仕事紹介や高校生の作業療法体験感想など展示エリアを設け、会員一同楽しみながら理解して頂けるよう活動できたのではないかと感じております。

また、今回のもう一つ新たな企画として、館内巡回をしながら街角アンケートを実施し、「作業療法・作業療法士を知っていますか?」の質問に102名の方にお答えいただきました。結果は・・・

**知っている: 42人 (41%)**

**知らない: 60人 (59%)**

男女、年齢問わずお聞きしていった中での結果ではありますが、世間では4割程度の認知度のようです。リハビリ、作業療法の経験がある方、またはご家族で治療経験がある方でないと現状では認知されていない印象です。

これを機に、以降のフェスタでもこのアンケートを継続していきたいと思っています。



最後に、佐賀県もユニバーサルデザイン化を推進されております。住み良い県、街にしていくために制度や建築環境、日常で使う道具など誰にでも利用しやすい環境が整っているようです。バリアフリーな外界は整備されつつありますが、人の心はどうでしょうか。心や身体、他者に見える障がいと見えない障がいとあり、これら病や障がいへの理解＝心のバリアフリーが更に広がるべきです。その一助に今回のフェスタのような事業を通して繋いでいきたいと考えております。

患者さんの  
“できた”の笑顔に  
何度泣かされただろう



一般社団法人  
**佐賀県作業療法士会**  
公式ホームページ  
<http://www.sagaot.com/>

佐賀OT 

佐賀県作業療法士会ホームページでは、作業療法士向けの会員ページと一般の方向けの情報を掲載しております。一般の方向けの情報としては、主に、今後作業療法士を目指す学生さんを対象に、学校紹介や職場体験などの情報を発信しております。また、「作業療法」という仕事を初めて聞いた人のために、仕事内容を漫画で示したパンフレットもご覧になれます。

## 佐賀県在宅生活 サポートセンター

ユニバーサルデザインを活かした誰もが自分らしく暮らせる  
在宅での生活スタイルの支援拠点

佐賀在宅生活  <http://saga-zaitaku-seikatu.jp/>

「介護の勉強がしたい」「福祉用具って何だろう?」「介護の仕方がわからない、どうしよう・・・」「家をバリアフリーにしたいけどどこに相談しよう」など、介護について様々な悩みをお持ちの方は、ぜひ、在宅生活サポートセンターをご利用ください。

佐賀県の在宅生活に関する  
サポートコンテンツが盛りだくさん!

